



資料5

キャリア形成プログラムの策定について

令和6年3月15日

神奈川県健康医療局保健医療部医療課

キャリア形成プログラムの見直しについて

- ・ これまでの議論を踏まえて全体像を整理
- ・ 未検討事項の検討

キャリア形成プログラムの見直し（配置方針：地域偏在の是正）

対応：卒後6～9年目は、以下の図の病院群に基づき、以下の通り、**地域A、B群に所在する医療機関に、4年間従事**することを配置方針（案）とする。

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
臨床研修		専門研修			地域医療実践			
臨床研修病院 (県内の臨床研修病院)		専門研修基幹施設 (県内の基幹施設、連携病院)			地域A、B群 (医師偏在指標上、全国平均を下回る二次医療圏)			

※ 医師偏在指標は3年おきに変更されます

【令和5年に示された医師偏在指標での状況】

多数区域・全国平均を上回る

多数区域・全国平均を下回る

医師少数でも多数でもない区域

少数区域



キャリア形成プログラムの見直し（キャリア開発との両立）

①：専門医取得（卒後3～5年目）との両立について

- ・ 専門研修プログラムによって、最短でも4年間研修期間が必要なプログラムがある。
 - ➡ 基本的には、**対応のとおり**、卒後6～9年目は地域A,B群となる専門研修プログラムを選択していただきたい。
 - ➡ 卒後6年目等に、**地域C群の従事**となる専門研修プログラムを選択することも可とするが、**義務年限に含まない**(義務年限を繰り延べる)。

(例)

○ 卒後6年目に専門研修を地域A,B群で勤務した場合、義務年限は通常どおり9年で終了

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
ローテーション	臨床研修		専門研修				地域医療実践		
従事地域	県内の臨床研修病院		地域A,B,C群			地域A,B群			

○ 卒後6年目に専門研修を地域C群で勤務した場合、**1年（卒後10年目）繰り延べる。**

← 繰り延べ →

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
ローテーション	臨床研修		専門研修				地域医療実践			
従事地域	県内の臨床研修病院		地域A,B,C群			地域C群	地域A,B群			地域A,B群

キャリア形成プログラムの見直し（キャリア開発との両立）

②：サブスペシャリティ取得のためのプログラム等との両立について

- 例えば、サブスペシャリティ取得のためのプログラムによっては、**地域C群での就業が必須である場合もある。**
- ➡**地域C群の従事も可とするが、義務年限に含まない**(義務年限を繰り延べる)。

【卒後6，7年目の2年間、地域C群に従事する場合の例】

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
臨床研修		専門研修			義務年限外		地域医療実践			
臨床研修病院群 (県内の臨床研修病院)		地域A、B、C群 (県内の基幹施設、連携病院)			地域C群で従事 (サブスペシャリティの取得等)		地域A、B群		地域A、B群	

← 繰り延べ →

キャリア形成プログラムの見直し（キャリア開発との両立）

③：大学病院「本院」での勤務について

- ・地域A,B群に所在する**大学病院「本院」**は、**地域A,B群の範囲外**とする。
- ・ただし、診療科によっては、**地域A,B群の大学病院「本院」での従事が必須**である場合もある。
- ➡**地域A,B群での従事も可とするが、義務年限に含まない**(義務年限を繰り延べる)

【2年ごとに本院（地域A,B群）と地域医療機関（地域A,B群）とで勤務する場合の例】

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目		
臨床研修		専門研修						地域医療実践						
臨床研修病院群 (県内の臨床研修病院)		地域A、B、C群 (県内の基幹施設、連携病院)			本院 (A,B群)			A,B群			本院 (A,B群)		A,B群	

← 繰り延べ →

キャリア形成プログラムの見直し（キャリア開発との両立）

義務年限の中断（繰り延べ）期間の上限について

○上限を設けている繰り延べ事由

専門研修期間中の県外研修(1年間まで)、大学院進学、留学(国内、海外)

➡新プログラムでは、これらに地域C群及び大学病院「本院」での勤務を追加

○上限の拡大（案）

現行プログラム：他の繰り延べ事由と通算して4年間まで



新プログラム：他の繰り延べ事由と通算して6年間まで

（考え方：見直しに伴い、4年間の専門研修プログラムによる地域C群勤務で最大1年、サブスペシャルティの取得等による地域C群勤務で1年、合計6年間まで繰り延べ可能として、実効性を確保する）

キャリア形成プログラムの見直し（キャリア開発との両立）

どの時点の医師偏在指標による地域A・B・C群を適用するか

- ・ 医師偏在指標は3年ごとに変更される。
- ・ 卒後6年目以降に勤務する地域A,B群は、どの時点の医師偏在指標に基づくか。

◆対応案

（案）令和5年に示された医師偏在指標にて決定した地域A,B,C群（スライド2）を適用する。

⇒ ・ 当面の間、地域群（A,B,C群）を固定し、地域群を変更しないこととしたい。

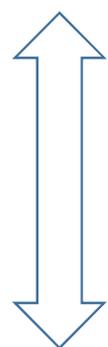
・ なお、医師偏在の状況等を注視し、変更等があった場合は、地域医療支援センター運営委員会等で協議を行う。

キャリア開発支援のための運用について①（キャリアコーディネーター）

キャリアコーディネーターとキャリア形成プログラム

キャリアコーディネーター（運用）

県の施策方針、地域枠学生・医師の意向、大学診療科教室等の人事方針等を踏まえ、地域枠学生・医師の抱える悩みやキャリア形成に対してアドバイス等を行う

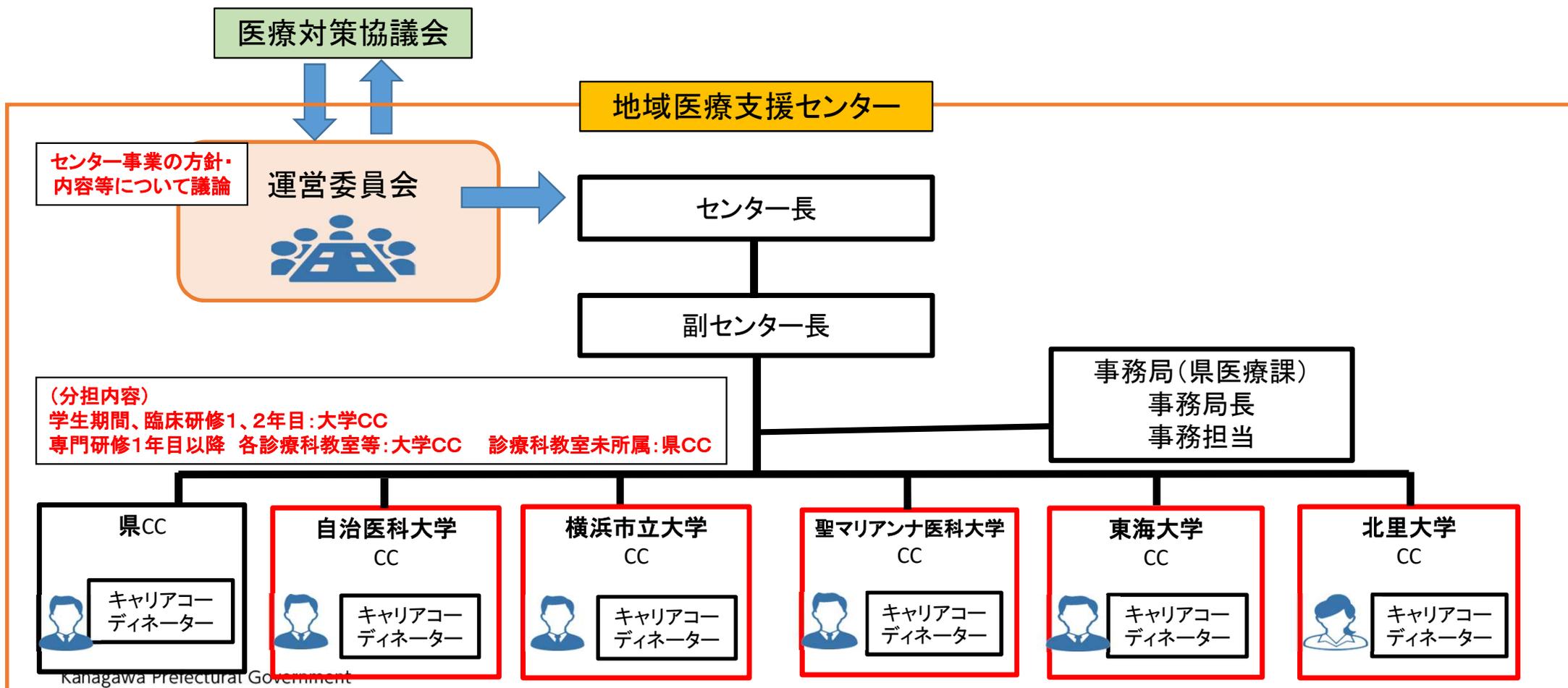


キャリア形成プログラム（方針・ルール）

「医師不足地域における医師の確保」（＝県の施策方針）と「医師不足地域に派遣される医師の能力開発・向上の機会の確保」（＝地域枠学生・医師の意向）の両立を図ることを目的として、診療科別に義務年限中の就業先等を規定する計画

キャリア開発支援のための運用について①（キャリアコーディネーター）

大学にもキャリアコーディネーターを配置



キャリア開発支援のための運用について②（キャリアプランシート(案)）

キャリアプランシートの記載・共有（以下、検討中）

- 地域枠医学生、医師が作成
- 県、キャリアコーディネーター、本人（及び大学診療科教室等）の間で、本人の**義務履行の状況やキャリアプランを共有**する。
- 面談時に、**キャリアプランシート**を参考にキャリアコーディネーターがアドバイスをを行う。
キャリアプランシート（仮）

項目名						
氏名	神奈川 太郎					
住所	神奈川県横浜市中区日本大通 1					
電話番号	045-210-1111		メールアドレス			
大学名	入学年	修学生番号	地域枠区分			

（6年次以降に記載）

指定診療科	キャリア形成プログラム加入状況	キャリア形成プログラム名称				
-------	-----------------	---------------	--	--	--	--

（医局・専門研修・資格）

医局名称（加入の場合）	責任者（職/氏名）				
専門研修基幹施設	基本領域	プログラム責任者（職/氏名）			

※指定診療科（修学資金貸与者のみ）及びキャリア形成プログラムは6年次に選択し、臨床研修2年目の7月（専門研修の応募前）まで変更が可能
※登録内容の変更に伴い、別途変更届の提出をお願いする場合があります。変更届の様式は別途メールアドレスまで送付します。

※育休、大学院進学等の中断期間を記載
※従事期間は1か月単位で算定

●研修履歴（卒業後）

年度	年次	勤務（予定）先		県内従事期間	月数	義務年限履行年数	
2016	1年目	済生会横浜市東部病院	臨床研修（基幹）	4/1-3/31	12	1	
2017	2年目	済生会横浜市南部病院	臨床研修（連携）	4/1-3/31	12	1	
2018	3年目	横浜市立大学附属病院（内科）	専門研修（基幹）	4/1-3/31	12	1	
2019	4年目	横浜労災病院（内科）	専門研修（連携）	4/1-9/31	6	0.5	
		横浜市立大学附属病院（内科）	専門研修（基幹）	10/1-3/31	6	0.5	
2020	5年目	横浜労災病院（内科）	専門研修（連携）	4/1-3/31	12	1	
2021	6年目	横浜市立大学附属病院（消化器内科）	サブスペシャルティ	4/1-9/31	6	0.5	
			産休・育休	10/1-3/31	6		0.5
2022	7年目						
2023	8年目						
	9年目						
	10年目						
	11年目						
	12年目						
	13年目						
合計						7	

備考：

キャリア開発支援のための運用について③ (サブスペ研修施設一覧(仮))

サブスペ研修施設一覧(仮)の作成

見直し後のキャリア形成プログラムが適用されれば、4年間、地域A,B群で従事することになるが、**地域A,B群にも、サブスペシャルティ等の専門性を高めることのできる医療機関が数多く存在する。**

➡特に分野が広い**内科(13領域)**や**外科(4領域)**については、サブスペシャルティ領域の専門医資格の取得のため、**各学会等が認定した医療機関のリストを県が作成**し、キャリア形成プログラムの別冊とする。

➡地域枠学生・医師の皆さんが**自身のキャリアを考える際の参考**にさせていただく

(例) 消化器内科のサブスペシャルティの症例が取得できる病院 (イメージ・検討中)

地域A群	地域B群	地域C群
○ ○ ○ ○ 病院 (横市) △ △ △ △ (東海)	● ● ● ● 病院 (横市) ■ ■ ■ 病院 ▲ ▲ ▲ ▲ 病院 (北里)	◎ ◎ ◎ ◎ 病院 (横市) ☆☆☆☆ 病院 (聖マリアンナ) ◇ ◇ ◇ ◇ 病院

※ () 内の記載は大学診療科教室等

キャリア開発支援のための運用について④（大学診療科教室等との調整）

地域枠医師が大学診療科教室等に所属した場合、県のキャリア形成プログラムと、診療科教室等の人事ローテーションとの調整が必要になる。



- キャリア形成プログラムの見直し案について、県内4大学の診療科教室等へ事前説明を実施済み
- 今後、地域枠医師が大学診療科教室等へ入局した際は、当該に対し、県のキャリア形成プログラムの内容について個別に説明し、大学診療科教室等のローテーションとの両立が図られるよう、前もって依頼する予定

新プログラムの適用対象者について

新プログラムの適用対象者

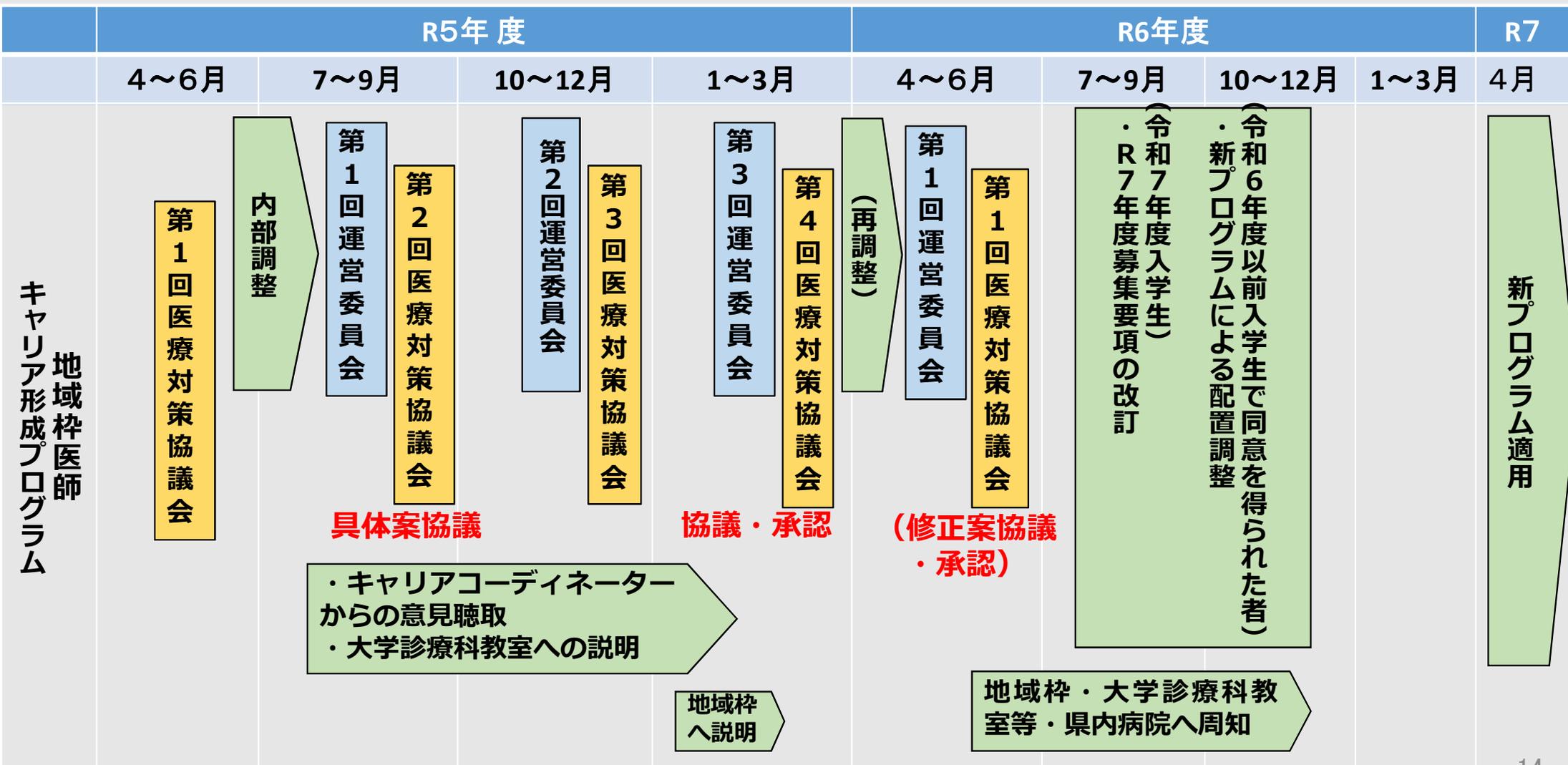
- ①必須適用：令和7年度以降の入学者
- ②任意適用：令和6年度以前の入学者（今後、同意いただいた場合に適用）

令和7年度からのプログラムの選択肢

	・ 医師（卒後1～7年目） ・ 医学部5、6年	・ 医学部1～4年 （令和2年度以降入学） ・ 高校3年	R7以降の入学生
新プログラム	○	○	○
現行プログラム	○	○	×
プログラム未加入	○	×	×

※新プログラムに同意しない場合でも、地域A,B群での勤務を推奨していく

令和5～7年度のスケジュール（キャリア形成プログラムの見直し）



地域枠への説明会の開催結果について

地域枠への説明会開催結果

名 称：キャリア形成プログラムの見直しにかかる説明会

日 時：令和6年2月13日(火)～16日(金) 17時～18時 計4回
(4回とも同内容。どれか1日に出席を依頼)

方 法：オンライン

内 容：キャリア形成プログラムの見直し案について

対象者：修学資金貸与者（医学部1年生～医師7年目）約200名

出席者数：102名

アンケート結果（回答数36）

1 説明について

①分かりやすかった 31名 ②どちらとも言えない 5名 ③分かりにくかった 0名

2 新プログラムの印象

①良い印象 8名 ②どちらとも言えない 24名 ③悪い印象 4名

3 新プログラムへの加入・変更について

①検討してもよい 14名 ②分からない 8名 ③検討できない 14名

地域枠への説明会開催結果

○ 主な意見等

年次	区分	内容
大学3年	プログラム	地域枠という特性上、このような変更賛成。しかし、病院の選択権等のある程度の選択権は残していただけるとありがたい。
大学5年	プログラム	所属する医局が決定したり、家庭などを持つことで状況は変わると感じたが、可能であればA, Bの病院に従事しても良いと思った。
卒後5年	プログラム	呼吸器外科を専攻しており、A, B領域での関連施設が少なく参加困難。
卒後1年	プログラム	実際に県西部で勤務しているので新たなプログラムが必要であることは理解できる。但し医師としてのスキルアップという観点からすれば、経験症例に偏りが生じうるのではと懸念している。
卒後6年	プログラム	医師3-5年目のAB群での勤務を義務年限のカウントできるようにするべきと考える。子供を産む前に、家を買う前にAB群勤務を終わらせるという選択肢を与えるほうが持続可能性が高いのではないかと。
卒後1年	その他	入学時は診療科の内容を知らないで地域枠で入学していて、同期で地域枠を離脱した人がいるが、枠がもったいないし、離脱するのは仕方ないと思った。制度上、難しいのかもしれないが、就職が決まってから、制度利用者を募ってもよいのではと思った。実際に同期で、8診療科内で地域A, B群に働いている人がいて、そういった方に地域枠に入ってもらったほうが良いと思った。

説明は以上です。